

## 令和2年度事業報告書

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、その防止を徹底しつつ、社会インフラ産業としての事業継続を図る取組に明け暮れた年となった。

そうした中で、協会は、東京都環境局等と協定を締結して行った廃プラスチックの資源循環、リチウムイオン電池等の混入による火災事故の防止、在宅勤務等で重要性が高まった電子マニフェストの普及などの事業を進めた。また、働き方改革や人材の確保・育成に努め、従業員が生きがいをもって働くことができかつ企業としての生産性が上がるよう、会員企業での労働環境の改善を促進した1年であった。

協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境を整えることをモットーに、事務局の運営方法の改善を図りながら、各種研修会・講習会の実施、関係法令等の情報提供、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、建設業界などの各種団体への働きかけなど、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える8つの委員会、その下の分科会や勉強会、プロジェクトチーム、さらには3つの部会は、コロナ禍でオンラインを活用するなどして、それぞれが設定した課題の解決・目標の実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

### 1. 適正処理・資源循環推進事業

#### (1) 調査研究事業

##### 1) 調査研究

廃棄物処理法令その他関係法令の改正の動向に的確に対応するとともに、個別課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、委員会等での検討、関係機関との意見交換会の開催など調査研究を行い、協会または協会会員としての取組方針の策定や要望書の提出、パブリックコメントへの意見提出等を実施した。

- ・令和3年度東京都予算要望について、都議会各政党に要望活動を行い（令和2年8、9月）、東京都知事ヒアリングに参加した（12月14日）。
- ・マニフェスト制度に関する改善要望書を、環境省廃棄物規制課、（公社）全国産業資源循環連合会及び（公財）日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）あてに提出した（令和2年10月28日）。
- ・リチウムイオン電池発火防止対策については、会員アンケートを実施し（9月）、関東地域協議会で議論（10月8日）、関東地域協議会が（公社）全国産業資源

循環連合会に要望書を提出（11月）、（公社）全国産業資源循環連合会が環境省及び経済産業省に要望書を提出した（12月）。

- ・国のパブリックコメント「今後のプラスチック資源循環施策のあり方について（案）」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する基本方針の変更案」に対して、意見を提出した（12月）。
- ・超党派の国会議員で構成される「資源リサイクル推進議員連盟」の総会（令和3年3月23日）に出席し、プラスチック資源循環の課題について意見を述べた。

## 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

## (2) 研修事業

### 1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を企画・実施した。

#### ① 建設廃棄物・三団体合同勉強会 38名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

参加団体：（一社）東京建設業協会 （一社）東京建物解体協会  
（一社）東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日：令和2年10月23日

講 師：東京都環境局環境改善部大気保全課大気規制担当  
東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課指導担当  
（一社）東京建物解体協会  
（一社）千葉県産業資源循環協会

内 容：・大気汚染防止法によるアスベスト飛散防止策の強化について  
・建設工事における特殊な廃棄物の取扱について  
・石綿含有建材に関する今後の問題点について  
・令和元年台風災害廃棄物処理の対応について

場 所：エッサム神田ホール1号館（千代田区）

#### ② 医療廃棄物排出事業者向けセミナー ～中止～

〔本協会・医療廃棄物委員会 主催〕

#### ③ 医療廃棄物適正処理研修会 ～中止～

〔本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催〕

#### ④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース ～中止～

〔本協会 主催〕

〔実施機関：（公社）全国産業資源循環連合会 実施協力：本協会〕

## 2) 講習会事業（許可申請等に関する講習会）

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である（公財）日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、新型コロナウイルス感染防止対策として、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。

以下の「A」は開催会場が秋葉原UDX（千代田区）、「B」はベルサール西新宿（新宿区）である。

### ① 新規許可申請講習会 667名

#### ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和2年	7月	2回	開催	A	100名
令和2年	8月	2回	開催	A	89名
令和2年	9月	4回	開催	A	107名
令和2年	11月	2回	開催	B	86名
令和3年	1月	2回	開催	B	87名
令和3年	3月	2回	開催	B	86名

#### イ 産業廃棄物の処分課程

令和2年	8月	1回	開催	A	14名
------	----	----	----	---	-----

#### ウ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和2年	8月	1回	開催	A	9名
令和2年	11月	2回	開催	B	84名

#### エ 特別管理産業廃棄物の処分課程

令和2年	8月	1回	開催	A	5名
------	----	----	----	---	----

### ② 更新許可申請講習会 1,068名

#### ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和2年	7月	4回	開催	A	167名
令和2年	8月	2回	開催	A	99名
令和2年	9月	7回	開催	A	270名
令和2年	10月	2回	開催	B	99名
令和2年	11月	2回	開催	B	93名
令和2年	12月	2回	開催	B	89名
令和3年	1月	2回	開催	B	93名
令和3年	3月	2回	開催	B	98名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和2年	7月	1回	開催	A	32名
令和2年	9月	1回	開催	B	28名

③ 更新許可申請講習会（講義ビデオ視聴型講習会） 102名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和3年	2月	1回	開催	B	48名
令和3年	3月	1回	開催	B	44名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和3年	2月	1回	開催	B	10名
------	----	----	----	---	-----

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 1,203名

令和2年	7月	2回	開催	A	97名
令和2年	8月	3回	開催	A	144名
令和2年	9月	15回	開催	A	244名
令和2年	10月	2回	開催	B	93名
令和2年	11月	2回	開催	B	94名
令和2年	12月	4回	開催	B	180名
令和3年	1月	2回	開催	B	77名
令和3年	2月	4回	開催	B	180名
令和3年	3月	2回	開催	B	94名

⑤ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 43名

令和2年	11月	2回	開催	B	43名
------	-----	----	----	---	-----

⑥ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 123名

令和2年	11月	2回	開催	B	53名
令和3年	3月	2回	開催	B	70名

(3) 相談指導事業

専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。年度当初週5日、4・5月の緊急事態宣言中は休止、6・7月は週2～5日、8月からは週4日とした。

令和2年度の相談件数は、2,239件であった。

## 令和2年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,239件の内訳)		II 照会・相談・質問 者内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,791	排出事業者等	1,913	会員紹介	1,870		
	相談事項	218			法令	179		
	質問事項	226			処理方法	69		
面接 WEB等	処理先照会	4			処理業者	101	契約書・管理票	70
	相談・質問事項				建設業関係	87	リサイクル関連	2
計		2,239			行政機関	42	建設廃棄物	0
					コンサル	10	許可関係 (講習会関係以外)	34
					医療機関	41	その他	15
					一般都民	45		

## 2. 環境対策事業

### (1) 環境活動

該当事業なし。

### (2) 環境対策事業

- ・特定家畜伝染病（鳥インフルエンザや豚熱等）が発生した場合に備えた連絡体制の確認を行った。
- ・豚熱対策のための野生イノシシへの経口ワクチンを散布できる土地を、会員の協力で東京都産業労働局に紹介したところ、同局で作業した結果、イノシシがワクチンを摂取したとの報告があった。

### (3) 災害廃棄物対策事業

23区及び東京二十三区清掃一部事務組合と締結した「災害時における災害廃棄物の処理、処分等に関する協定」に基づき、実施細目を策定する等のための意見交換を、令和2年8月21日及び令和3年1月26日に23区・一部事務組合と行った。

## 3. 普及事業

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

## 2) 図書等の有償頒布

### 有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	798部
建設廃棄物処理委託契約書	1,179部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	94部

### 車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	13社	21組
シート(固定)式	15社	21組
合計	28社	42組

\*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

## 3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、(公社)全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)」[(公社)全国産業資源循環連合会 発行]の販売を行った。

### 産業廃棄物管理票普及実績

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	156,800セット	110,500セット	267,300セット
	積替用	26,500セット	66,500セット	93,000セット
建設系廃棄物		335,300セット	262,000セット	597,300セット
合計				957,600セット*

\*対前年度比 89.7 %

## 電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	12, 200セット
--------------------------	------------

### 電子マニフェストに係る説明会 ～中止～

〔（公社）全国産業資源循環連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

## (2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第356号から第367号まで計12号を発行した。

内容は、協会、（公社）全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

### <主な記事>

- ① 特別区における災害廃棄物対策に向けた協定の締結について
- ② [東京都環境局～プレス発表より]  
廃プラスチックの国内有効利用に向けた実証事業  
廃プラスチック緊急対策事業スタートの経緯
- ③ [第8回定時総会]  
令和元年度事業報告、決算を承認  
鈴木宏和新会長など新役員の新布陣決まる
- ④ [収集運搬委員会]  
新型コロナウイルスへの対応が議論された
- ⑤ 令和2年度 労働災害防止計画について
- ⑥ [許可申請等講習会]  
JWセンター主催の許可申請等講習会はオンライン講義を実施
- ⑦ [法制度検討委員会]  
電子マニフェストに関してJWセンターとの意見交換会を開催
- ⑧ [安全衛生推進委員会]  
安全衛生研修会  
『我が社の安全衛生推進の取組み』  
『産業廃棄物処理業におけるモデル安全衛生規程及び解説』
- ⑨ 新入会員と協会役員との懇談会
- ⑩ 東京都予算に対する小池知事ヒアリング
- ⑪ 小型充電式電池のリサイクルの意向調査結果
- ⑫ [中間処理委員会]  
火災・水災事故対策 予防セミナー  
～中間処理施設に於ける火災・水災事故の原因・対策・予防等～

### (3) 会 員 事 業

#### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国内処理施設見学研修会は中止、研修会の開催回数を減らす、オンライン方式を採用するなどの対応を行った。

#### ① 国内処理施設見学研修会 ～中止～

#### ② 安全衛生研修会 79名

〔安全衛生推進委員会 主催〕

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年3回の予定を2回の実施とした。

2回とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集人員を会場定員の50%以下とした。

##### ア 第1回 安全衛生研修会

期 日 : 令和2年10月13日 46名

内 容 : 「我が社における安全衛生推進の取組み」

今年度の安全衛生表彰被表彰者企業、及び安全衛生推進委員から講演希望のあった企業の安全管理担当者に上記内容をテーマに発表してもらった。

講 師 : 成友興業(株) (株)タケエイ

場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

##### イ 第2回 安全衛生研修会

期 日 : 令和3年2月2日 33名

内 容 : 【第1部】「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」

【第2部】「女性の観点からの安全衛生」

講 師 : 【第1部】東京労働局 【第2部】五十嵐副会長

場 所 : エッサム神田ホール2号館(千代田区)

#### ③ 火災予防研修会

〔中間処理委員会 主催〕

期 日 : 令和2年9月14日 53名

内 容 : 【第1部】「産業廃棄物処理施設の事故事例と火災予防について」

【第2部】Ⅰ「リチウムイオン電池の発火問題とその対策」

Ⅱ「リチウムイオン電池を含む電子機器による火災トラブル」



講 師 : 【第1部】東京消防庁  
 【第2部】Ⅰ (株)エコネコル (株)VOLTA グループ  
 Ⅱ (公財) 日本容器包装リサイクル協会  
 場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

#### ④ 火災・水災事故対策 予防セミナー

[ 中間処理委員会・東京海上日動火災保険(株) (賛助会員) 共催 ]

期 日 : 令和3年2月16日 67名  
 内 容 : 「中間処理施設に於ける火災・水災事故の原因・対策・予防等」  
 講 師 : 東京海上日動リスクコンサルティング(株)  
 東京海上日動あんしんコンサルティング(株)  
 実施方法 : オンライン

### 2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため例年行ってきた、総会後の懇親会、賀詞交歓会、多摩支部の交流活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。その他の交流や、青年部、女性部の諸活動は、感染拡大防止に努めながら行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。
- また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した(1回は協会機関誌上でのバーチャル懇談会とした)。

#### 会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
令和 元年度末会員数	5 5 1	7 9	6 3 0
令和 2年度入会者数	6	3	9
〃 退会者数	1 1	4	1 5
令和 2年度末会員数	5 4 6	7 8	6 2 4

- ③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

### 3) 顕彰・表彰事業

令和2年度は、『優良事業所表彰』5社、『功労者表彰』2名、『優良従事者表彰』10名、安全衛生表彰『会長賞表彰』1名を表彰した。

#### 4) 人材の確保に向けた採用支援

##### ① 人材確保プロジェクト

5月19日、6月16日、8月6日、9月24日、12月4日、3月5日の計6回開催した。

10月20日に、会員企業の人材担当者向けの「新卒・中途採用 Web (Zoom) 活用セミナー」を開催した (参加者9名)。Web 会社説明会開催の手順や Web 面接での注意点などわかり易くてとても良かったとのアンケート回答があった。

機関誌での波及活動として、プロジェクトメンバー企業に入社した新入社員にインタビューを行い機関誌に掲載した (令和3年12月号まで掲載予定で今年度は6回掲載)。

各企業の離職率や離職理由、必要な人材を把握するため、協会会員に定着率アンケートを実施した。

#### 5) 廃プラスチック国内有効利用実証事業

東京都環境局、(公財) 東京都環境公社、太平洋セメント(株)及び当協会とで締結した協定に基づき、令和2年4月から、廃プラスチックを北海道及び大分県のセメント工場で原燃料として利用するための実証事業を始めた (令和2年度・3年度の2か年事業)。参加企業を協会が半年ごとに募っている。令和2年度は延べ8社の中間処理業者が参加し、約275トンを扱った。

## 4. 管 理 運 営

### (1) 総 会 (1回)

第8回定時総会 期 日 : 令和2年 5月28日  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)  
議 案 : ①令和元年度事業報告  
②令和元年度決算報告承認の件  
③理事・監事選任の件  
出席者 : 393名 (委任状・議決権行使書を含む)

### (2) 理事会 (定例会8回/臨時会1回)

第60回理事会 期 日 : 令和 2年 4月28日  
第61回理事会 期 日 : 令和 2年 5月13日  
臨時理事会 期 日 : 令和 2年 5月28日  
第62回理事会 期 日 : 令和 2年 6月10日  
第63回理事会 期 日 : 令和 2年 7月 8日  
第64回理事会 期 日 : 令和 2年 9月 9日

第65回理事会	期日	:	令和 2年 11月 11日
第66回理事会	期日	:	令和 3年 1月 13日
第67回理事会	期日	:	令和 3年 3月 10日

### (3) 常任理事会 (7回)

令和 2年 4月 28日	令和 2年 5月 13日	令和 2年 6月 10日
令和 2年 7月 8日	令和 2年 9月 9日	令和 2年 11月 11日
令和 3年 3月 23日		

### (4) 協会事務運営

#### 1) 会費の集金事務 (自動振替のすすめ)

正会員会費の「預金口座振替制度」は既の実施していたが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定している。現在、約8割の正会員企業が自動振替となった。引き続き、預金口座振替制度の利用拡大をお願いする。

#### 2) 会員への電子メールによる情報提供

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

メールアドレスを登録いただいた正会員は約150社(全体の30%)、賛助会員は約20社(全体の25%)までになったが、国や東京都、(公社)全国産業資源循環連合会などから急ぎの調査依頼などがあるので、会員の多くの方々のメールアドレスの登録を期待している。

## 5. 委員会・部会活動

### (1) 総務委員会

10月27日、3月23日の計2回、事業計画や執行に関する基本的事項や横断的事項、協会の財政基盤強化策などについて協議し、調整を行った。

### (2) 法制度検討委員会

総務委員会の下にあった法制度検討委員会は、令和2年度から他の7委員会と同様の委員会に格上げし、活動の充実を図った。

5回の委員会と2回の特別チームワーキングを以下のとおり実施した。

- ① 昨年度から引き続きの議題「電子契約、電子manifesto、帳簿、請求書の効率的な連鎖を検討する」を年間を通して検討し終了した。この議題のまとめを機関誌に掲載する。

- ② 廃棄物処理法制定 50 周年記念を節目として、今後の廃棄物処理法のあり方はどうあるべきかを考える一つとして、協会が国等に行うマニフェスト制度に関する要望の内容の精査・検討を行った。また、このうち電子マニフェストに関しては、実務者を含めた特別チームを組み、ワーキング及び JW センターとの意見交換会を行った。その内容については機関誌第 362 号に掲載した。

### (3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月 1 回（年 12 回）委員会を開催した。  
（1 月～3 月は Web 会議）
- ② 記事内容については、法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については、詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等会員各位の事業について積極的に紹介した。
- ⑥ 会員各位の協力を得て「新入社員インタビュー」の連載を開始した。
- ⑦ 会員読者の誌面への参加を求めた。

### (4) 安全衛生推進委員会

3 回の委員会と 2 回の研修会等を以下のとおり実施した。

- ① 安全衛生研修会 [本議案書 P 8 3. - (3) - 1) - ②A 参照]
- ② 安全パトロール  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
- ③ 安全衛生活動に顕著な実績を示した 1 名（安全衛生表彰『会長賞表彰』）を選考した。
- ④ 協会名入り安全衛生ポスター「整理・整頓・清潔・清掃 キレイにすると、いろんなことが見えてくる。」（6 月）と「声かけあって安全作業 今日も一日ご安全に！」（11 月）を会員各社に配布した。
- ⑤ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。
- ⑥ 当協会の令和 2 年度労働災害防止計画に定めた休業 4 日以上の方災件数削減目標（平成 24～26 年の実績平均より 20%削減）は、残念ながら達成できなかった。（令和 2 年は 27%増）  
会員各社からの取組状況報告では活動目標 9 項目のうち初めて 1 項目（全国産業資源循環連合会がホームページ上で公開している安全衛生情報を認知している）が目標数を達成した。

## (5) 収集運搬委員会

- ① 委員会を6月15日、8月7日、9月16日、2月1日の計4回開催した。  
6月の委員会にて議論された新型コロナウイルスへの対応等について、令和2年8月1日発行の機関誌で報告した。
- ② 業務効率化と働き方改革についてのディスカッションを実施した。副業やテレワーク・休業等に係る質問事項に、同席いただいた社会保険労務士が回答・解説を行った。その内容をもとに、令和2年10月1日発行の機関誌・よろず相談のコーナーに「テレワークや副業の導入における留意点」を掲載し会員へ周知した。
- ③ 交通事故防止のための研修会「ドライブレコーダーの活用方法」を11月6日にオンラインセミナーの試行として委員会社限定で開催した。
- ④ 当初計画していた施設見学会はコロナ禍の影響により中止とした。

## (6) 中間処理委員会

- ① 委員会を7月3日、11月16日、3月24日の計3回開催した。
- ② 11月16日には、東京都環境局を招き意見交換した。  
国のプラスチック資源循環戦略の具体化への対応策や、東京都のプラスチック削減プログラムの具体化への対応策など、今後のプラスチック資源循環施策の方向性について意見交換を行った。
- ③ 研修会 9月14日「火災予防研修会」及び2月16日「火災・水災事故対策 予防セミナー」  
【本議案書P8～9 3.-(3)-1)-③④ 参照】
- ④ 破砕・圧縮分科会では、リチウムイオン電池発火問題、廃プラスチックの受入の変動状況について2回意見交換した。12月2日には（公財）日本容器包装リサイクル協会による出前講座「廃プラスチック資源化の国の取組みと今後の方向性について」を受けた。
- ⑤ 焼却分科会では、コロナ禍での安全対策や焼却施設の受入状況の変動などに関して1回情報交換した。
- ⑥ 中和・脱水分科会では、排出事業者向けのWDSの必要性や留意点、今後の周知方法などを2回検討し、その内容を（公財）東京都環境公社が令和3年度に改定する産業廃棄物管理責任者講習会テキストに、盛り込んでもらうことになった。

## (7) 建設廃棄物委員会

建設廃棄物に係る課題解決に向けて次のとおり取組を行った。

- ① 委員会を7月22日、11月26日の計2回、勉強会を1回開催した。  
7月22日  
・三団体合同勉強会テーマ及び日程について

10月23日

- ・三団体合同勉強会　　【本議案書P2　1. - (2) - 1) - ① 参照】

11月26日

- ・建設廃棄物の特殊品目名称統一について
- ・令和3年度活動計画

## ② 建設混合廃棄物分科会

一都三県建設混合廃棄物意見交換会では、特殊品目名称の統一とデジタル・プラットフォーム構築の実現に向けて、特殊品目の標準化による建設廃棄物処理・効率化セミナーとして、「特殊品目名称の標準化実務運用のための従業員教育と建設廃棄物業界のDX構想」をテーマに開催した。(3月2日)

## ③ 再生骨材等勉強会

再生骨材コンクリートの普及促進について、東京都都市整備局の建設副産物担当との意見交換を9月8日に行った。また、その内容報告を10月8日に再生骨材等勉強会を開催し、今後は東京都環境局と再生砕石の利用拡大支援策の見直し等について意見交換を求めていく。来年度からは、当勉強会と建設汚泥分科会が統合し、新たな分科会として活動していく。

## (8) 医療廃棄物委員会

### ① 感染性廃棄物に特化したWDSの作成

当委員会で感染性廃棄物に特化したWDSを作成し、協会のホームページから自由にダウンロードできるようにした。

### ② 11月25日 医療廃棄物合同懇談会

東京が主催となり、東京・神奈川・静岡の三都県の医療廃棄物委員会・部会で、リモートによる懇談会を開催した。後日、懇談会の内容を東京都医師会などの医療機関の関係団体へ文書で報告した。

- ・「新型コロナウイルスの廃棄物処理について」というテーマで、横浜市東部病院感染対策室の医師と、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課よりご講演いただいた。

- ・各都県の直近の取組状況を報告

東京からは医療廃棄物委員会で感染性廃棄物に特化したWDSを作成し、協会のホームページに掲載したと報告した。

- ・新型コロナウイルスの廃棄物処理について以下の6つの論点について意見交換を行った。

新型コロナに係る感染性廃棄物の、その他の感染性廃棄物との分別や特別な表示

医療機関等以外からの新型コロナに係る廃棄物の取扱い

感染防止対策としての防護服の着用や二重袋の適用の効果と必要性

廃棄物処理における在宅勤務、ローテーション勤務の実施可能範囲  
感染症の拡大による感染性廃棄物の量の増減  
感染性廃棄物の処理能力の観点から見た弾力性

新型コロナウイルス感染拡大の影響により以下の③～⑥は中止となった。

- ③ 医療廃棄物排出事業者向けセミナー
- ④ 医療廃棄物適正処理研修会（主催：当協会 東京都環境局 東京都医師会）
- ⑤ 都内の医師会研修会への講師派遣
- ⑥ 施設見学会

## (9) 多摩支部

### ① 多摩支部会・研修会

6月12日に多摩支部幹事会・支部会・講演会・研修会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

### ② 施設見学会

9月11日～12日にコミュニケーション委員会主催の施設見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

### ③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

3月12日の多摩支部幹事会では令和3年度の事業計画の内容等について討議、決定した。なお、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴い中止となった。

## (10) 青年部

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、部員紹介インタビュー以外の事業は延期及び中止となった。

### ① 総務・広報委員会

（各事業の受付業務及び会計報告、各事業の記事写真等の広報担当）

- ・青年部員間で部員をよく知り仲間意識を高めるため、月2名程度の部員紹介記事作成を目標に部員紹介インタビューを実施する予定だったが、長引くコロナ禍により、年2名のみの実施となった。
- ・内容は（公社）全国産業資源循環連合会青年部協議会インターネット情報『れん楽網』に載せ、部員内で情報共有を図った。

### ② 研修委員会

（経営層だけでなく、全部員にとっても個のスキルアップや魅力ある研修会・勉強会担当）

- ・研修会、合宿研修会、勉強会等においてもコロナ禍により中止となり、開催は来期へと延期となった。

### ③ コミュニケーション委員会

(青年部間のコミュニケーションを取りやすくする仕掛けを積極的に実施、各事業後の懇親会担当)

- ・エコツアー活動、視察研修旅行（日帰り等）、交流事業に関してもコロナ禍により中止となった。

### ④ その他

- ・賀詞交歓会（中止）、総会（役員のみ出席、部員は書面にて実施）
- ・(公社)全国産業資源循環連合会青年部協議会及び関東ブロック賀詞交歓会は開催中止となった。また、双方の総会はWeb会議にてリモート参加した。
- ・出前講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって中止となった。引き続き、青年部独自の事業活動として出前講座を実施予定である。

## (11) 女性部

令和2年度の女性部は、グループ編成を一新し、「営業チーム」「総務・経理チーム」「経営・経営企画チーム」の3チームで活動をスタートした。コロナ禍でオンライン会議システムをフルに活用した一年となった。

### <営業チーム>

#### ① 5月21日 オンライン勉強会

マニフェスト処理効率化に向けたアンケート結果と質問に対する回答

講師：芝田麻里弁護士

#### ② 11月19日 オンライン一般会員公開勉強会

「電子契約について」

講師：電子契約取扱4社

(JEMS、トライシクル、Weee、イーリバースドットコム)

### <総務・経理チーム>

#### ③ 10月15日 オンライン勉強会

「社内コミュニケーションを促進するためのIT活用勉強会～いまさら聞けない基礎知識～」

講師：女性部幹事

### <経営・経営企画チーム>

#### ④ 12月17日 当協会役員による勉強会（オンライン同時開催）

### 関東地域協議会女性部会への参加

#### ⑤ 11月27日 オンライン意見交換会

「女性部会のつどい on the Web」